

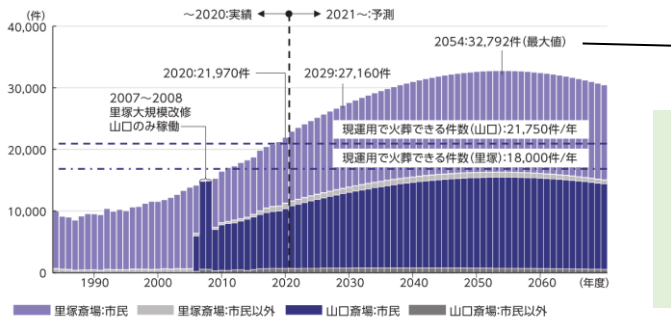
新たな火葬料制度の方向性

令和 6 年 5 月 3 1 日

札幌市保健福祉局ウェルネス推進部施設管理課

1 火葬場の現状と課題

① 多死社会の到来による火葬件数の増加



今後、多死社会が訪れることで火葬件数が増え、2054年度には最大32,800件に達する予想

課題

- 火葬場 1 施設のみで火葬できる件数を超過しており、2つの火葬場の継続稼働が必要
- 火葬場は20年程度の使用で大規模改修が必要
- 火葬件数増に対応する施設整備や運用改善が必要

② 里塚斎場の再整備と山口斎場の大規模改修



火葬炉は温度変化によって損傷しやすいため、20年に1回くらいの頻度で大規模改修が必要

課題

- 2034年以降に里塚斎場の大規模改修もしくは建替が必要
- 2036年以降に山口斎場の大規模改修が必要

③ 火葬場使用料収入減少の見込み（特別控室使用率の減少）

政令指定都市（20都市）の火葬場使用料（火葬炉使用料と控室使用料）

市民の火葬料を無料としている市は少ない

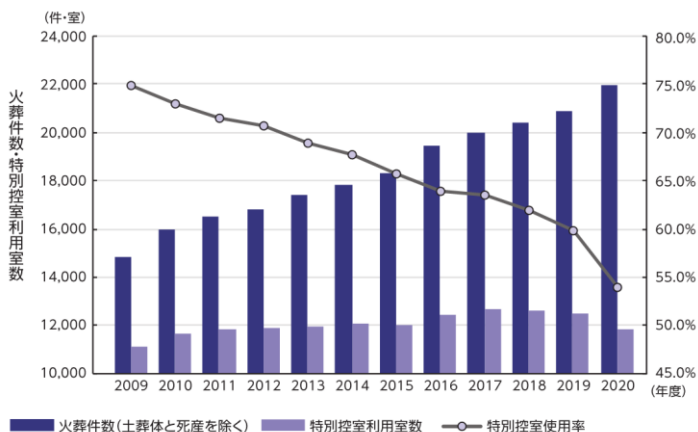
		火葬炉使用料(大人)			控室・待合室使用料		
		市民	市民以外	市民以外の 使用料に対する 市民の使用料の 割合	市民	市民以外	市民以外の 使用料に対する 市民の使用料の 割合
札幌市		無料	49,000円	-	23,000円	23,000円	100.0%
政令指定都市平均※		10,762円	55,060円	19.5%	5,978円	8,942円	66.9%
参考	横浜市	12,000円	50,000円	24.0%	5,000円	7,500円	66.7%
	名古屋市	5,000円	70,000円	7.1%	4,000円	6,000円	66.7%
	熊本市	6,000円	36,000円	16.7%	4,000円	4,000円	100.0%
備 考 欄		市民有料:17市 市民無料:3市			控室料金有料なのは11市、 無料なのは9市		

控室料金の有料・無料は半々

札幌市は特別控室使用料が他都市より高額



※ 無料の都市を除く。



会葬者の少人数化等により、特別控室使用率が低下一方で、共用の待合ロビーの混雑が深刻化

市民火葬料無料のため、主な収入源が特別控室使用料となっており、今後火葬場収入が減少の見込み

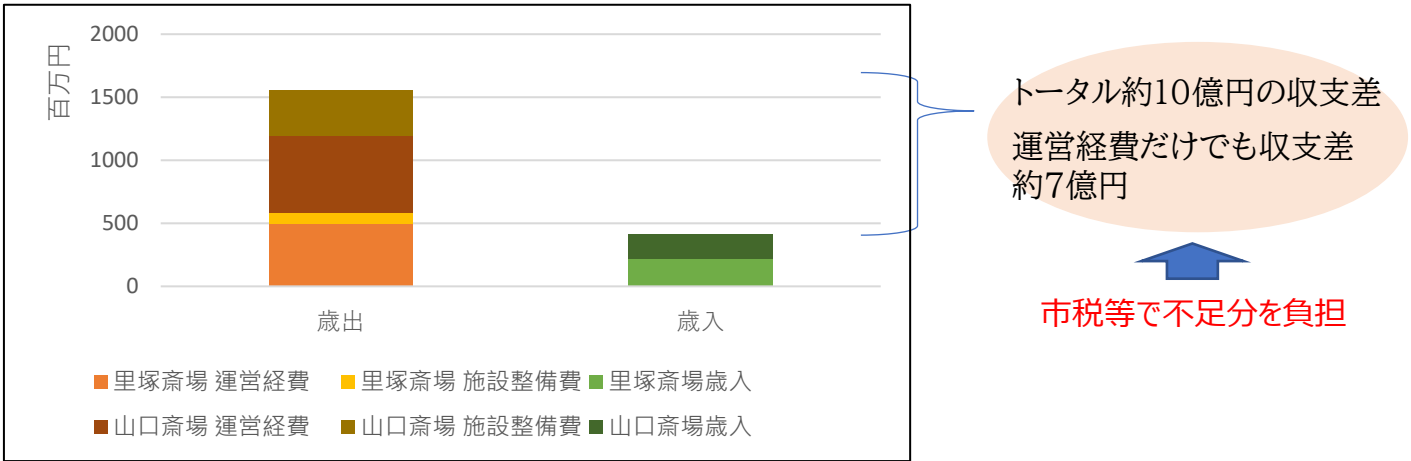
課題

- 今後想定される火葬場の施設整備に多くの費用がかかることが想定されるため、火葬場の収支改善による財源確保が必要
- 使用者に快適に過ごしていただくため、特別控室の使用率を改善し、待合ロビーの混雑解消を図る必要がある

火葬場収入合計 3～4 億円／年度

2 火葬料の現状

火葬場の運営に係る収支の現状（R4年度）



受益と負担の割合を見直し、市税等の投入額を削減
火葬場の安定的な運営に必要な財源確保

火葬料制度の見直しが必要

3 新火葬料制度の方向性

- 市民の火葬料については、ランニングコスト（人件費・物件費）の一部をご負担いただく。
- 市民の特別控室使用料については、アンケート結果も踏まえて減額とする。これにより使用率が向上し、ゆったりと待ち時間を過ごしていただける環境が提供できるとともに、待合ロビーの混雑緩和にもつなげていく。
なお、会葬者数により控室を使用しないケースや2室使用するケースもあるため、無料とはしない。
- 市外の火葬料及び特別控室使用料は、現状の金額をもとに、ランニングコストの上昇分を加味する。

方向性

【参考】他都市状況（政令市）

	現状（H18年度）	改定後	金額範囲
火葬料(市外)	49,000円 (火葬原価を全額受益者負担)	人件費・物件費の上昇分を反映	27,200円～100,000円
火葬料(市民)	無料	一部負担 (ランニングコスト)	5,000円～20,000円
特別控室使用料	23,000円	市民のみ減額の方	3,000円～6,000円

※料金を徴収している都市のみ

過度な負担とならないよう、他都市の状況や市民意見を踏まえながら検討

市民アンケート

【火葬場利用者】

- ・対象者：令和4年度に札幌市の火葬場を利用した市民500人
- ・回収数・率：回収数226件、回収率45.2%
- ・性別：女性56.6%、男性42.9%
- ・年齢：70代以上42.0%、60代36.3%、50代以下21.2%

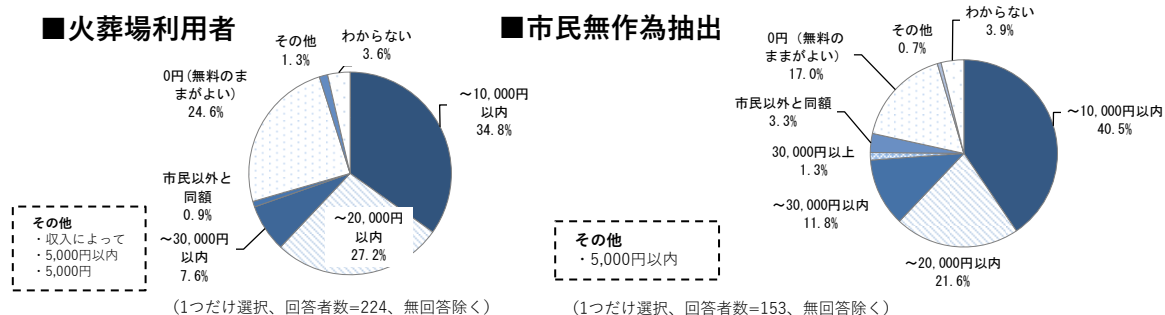
【市民無作為抽出】

- ・対象者：無作為抽出した18歳以上の市民500人
- ・回収数・率：回収数153件、回収率30.6%
- ・性別：女性62.7%、男性36.6%
- ・年齢：60代22.9%、50代20.3%、70代以上19.6%、40代18.3%

結果抜粋

(1) 火葬場利用に係る費用の負担感【火葬場利用者・市民無作為抽出】

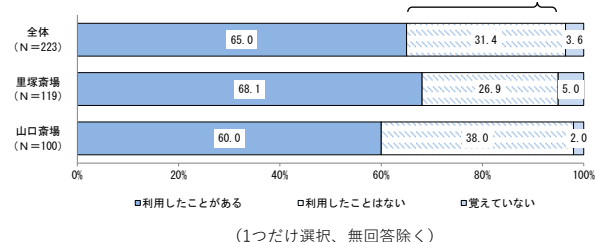
<設問>市民の火葬料金について、あなたはどのくらいまでなら負担してもよいと思いますか。



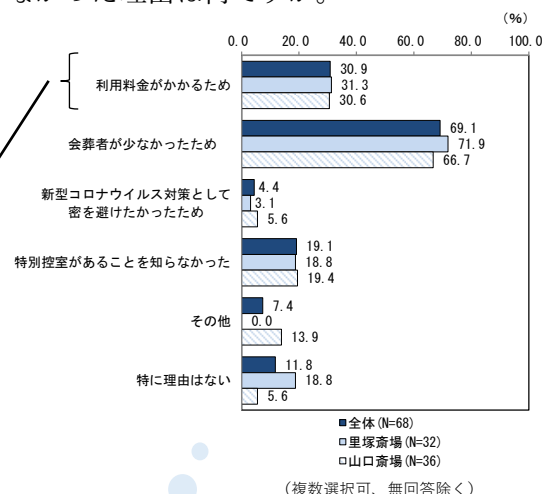
火葬場利用者、市民無作為抽出ともに「1万円以内」「2万円以内」「0円（無料のままがよい）」の順に回答が多かった。

(2) 特別控室の利用状況【火葬場利用者】

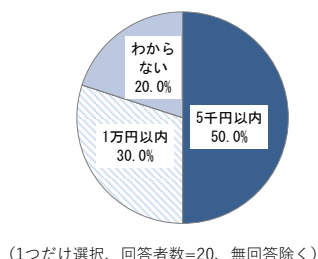
<設問>あなたは、これまで特別控室を利用したことがありますか。



<設問>「利用したことはない」と答えた方にお聞きします。あなたが特別控室を利用しなかった理由は何ですか。



<設問>「利用料金がかかるため」と答えた方にお聞きします。あなたは、特別控室の利用料がどのくらいなら利用しましたか。



特別控室を利用しなかった理由として最も多かったのは「会葬者が少なかったため」であった。

「利用料金がかかるため」と回答した方の約5割が「5千円以内であれば利用した」と回答し、「1万円以内」の回答も含めると約8割となった。